

学会論文賞（旧称：医療経済研究年間優秀賞）過去受賞者

医療経済研究年間優秀賞（2005 年度～2009 年度）

2005 年度 今野 広紀（医療経済研究機構 リサーチレジデント） 生涯医療費の推計 -事後的死亡者の死亡前医療費調整による推計-
2006 年度 該当論文なし
2007 年度 該当論文なし
2008 年度 遠藤 久夫（学習院大学 経済学部 教授） 山田 篤裕（慶應義塾大学 経済学部 准教授） 介護保険の利用実態と介護サービスの公平性に関する研究
福永 英史（東北大学 大学院薬学研究科 医薬開発構想寄附講座） 大久保 孝義（東北大学 大学院薬学研究科 医薬開発構想寄附講座 准教授） <div style="text-align: right;">他</div> 日本の高血圧診療に家庭血圧測定を導入した場合の費用対効果分析
2009 年度 菅 万理（兵庫県立大学 経済学部 准教授） 日本の高齢者の健康格差に関する計量分析 - 老人保健制度の効果に注目して -

学会論文賞（2009 年度～）

2009 年度 熊谷 成将（近畿大学 経済学部） 入院医療サービスの垂直的公平性と負担金の不平等度

菅原 琢磨（国立保健医療科学院 経営科学部） 地価情報を用いた地域医療システムの価値評価 ～ヘドニック法による地域社会の「安心」の測定～
2010 年度 該当論文なし
2011 年度 花岡 智恵（大阪大学 社会経済研究所） 介護労働者の離職要因：賃金が勤続年数別の離職に与える影響
2012 年度 足立 泰美（大阪大学 大学院医学系研究科） 産婦人科集約化に伴う妊婦の施設選択行動の分析 ―地理的空間的要因・施設要因・社会的経済的要因の影響―
2013 年度 大津 唯（立教大学 経済学部 助教） 短期被保険者証・被保険者資格証明書交付による受診確率への影響 ―国民健康保険レセプト・データに基づく実証分析―
2014 年度 岸田 研作（岡山大学 大学院社会文化科学研究科 教授） 介護が就業、収入、余暇時間に与える影響 ―介護の内生性および種類を考慮した分析―
2015 年度 該当論文なし
2016 年度 該当論文なし
2017 年度 上野 綾子（衆議院調査局） 濱秋 純哉（法政大学 経済学部） 2009 年度介護報酬改定が介護従事者の賃金、労働時間、離職率に与えた影響

<p>2018 年度</p> <p>佐野 隆一郎（東京大学 大学院）</p> <p>労働時間種別による病院勤務医の夜間休日労働の 勤務意欲にもたらす影響の検討</p>
<p>2019 年度</p> <p>今堀 まゆみ（早稲田大学 大学院）</p> <p>所得が高齢者の医療・介護費に与える影響</p>
<p>2020 年度 該当論文なし</p>
<p>2021 年度</p> <p>白根 友哉（放送大学 大学院博士後期課程生活健康科学プログラム）</p> <p>無人航空機（ドローン）を活用した自動体外式除細動器（AED） ネットワーク構築における費用対効果評価の分析</p>
<p>2022 年度 該当論文なし</p>
<p>2023 年度</p> <p>王 子言（大阪公立大学大学院 経済学研究科）</p> <p>日本のヤングケアラーのケア役割とケアに対する肯定的・否定的反応の 関係—国際指標 PANOC-YC20 を用いた実証分析</p>
<p>2024 年度</p> <p>森田 和仁（東京大学大学院 医学系研究科）</p> <p>生活習慣病に関する総合的な治療管理が避けられる入院に与える影響 ：後ろ向きコホート研究</p>
<p>2024 年度</p> <p>沢田 拓哉（東北大学大学院 経済学研究科）</p> <p>日本の医薬品市場における広告の利益率への効果分析</p>

*受賞当時の所属・役職名を記載